

鬼北句会

山を出て筍くくり直しけり
 黙々と畦塗る人や暮れの里
 百姓に降る吹く曇の四月過ぐ
 人住まぬ庭に牡丹の崩れをり
 朝掘と筍土間に走り書き
 気掛りや内弁慶の入学す
 陽光に透き通るような柿若葉
 古稀祝きて挿したる薔薇の二輪咲き
 陰日向ますます濃くて夏に入る
 旅果てし月おぼろなる家路かな
 轉や土佐の山脈むらさきに
 筍が荷台食み出し好々爺
 蔵の戸の重たき日なり菜種梅雨

大川 眺春
 毛利 知子
 善家 信景
 善家 三代
 善家 章
 上甲 正志
 上甲 武英
 松本 久江
 滝本 明
 今西 英子
 武田 幸子
 二宮千代子
 二宮 友子

鬼北川柳会

何百年も生きた桜に酔うカメラ
 太平に酔うたモラルの千鳥足
 煮つまつた妥協へうまい酒に酔う
 コップ酒酔って本音が出る屋台
 美に酔ったトリノ五輪の名演技
 窯出しへ心が躍る初体験
 ドッコイシヨおどつています喜寿の坂
 花の宴猫も杓子もみな踊る
 鳴り止まぬ拍手に応え又おどる
 鍵盤へ十指ばつちりおどつてる
 この山の王者ですよと桜咲く
 釣糸を垂れて明日の策をねる
 寝ころんで広い青空ひとり占め
 ひらひらと花の色香に酔うた蝶
 練り上げた技へ匠の名が冴える
 仮眠する介護疲れを起すまい

芝 幸子
 宇都宮 孝
 大野モモエ
 兵頭 紀子
 小越 安隆
 清家 厚美
 若宮 賢敬
 水野 貞子
 大沢和希子
 大本ミヤ子
 宇都宮七郎
 畠山 千歳
 都 瞳
 宮脇マサエ
 渡辺 光男
 栗木 一郎



大きくなったら 泉小学校

ぼくは、お父さんの車に乗るのが大好きです。道路を走っているか、こい車を見るのも好きです。学校では、毎日先生と車の話をしています。

大きくな、たう、車屋さんに
 なりたいです。そのために勉強
 をし、かりしておきたいです。
 鬼北町の道を安全運転で走り
 たいです。

車屋さんになる
 五年山本 陽太

わたしは、しょう来のお花やさんになりたいです。お店の名前が『きらら』です。『きらら』とかがやうな、きれいな花を売りたい、というぬが、こめてつけました。

きらら町のみんなにお店に来
 てもらって、わあ、きれいな
 お花だね、というてもらいた
 いです。ゆめがかなうといいな。

お花やさんになりた
 三年山下 遙

ぼくの将来の夢は、大工だ。ぼくの父はよく山で木を切っている。その姿を見て、大工に興味をもつようになった。

ぼくは家の人に迷惑ばかりか
 けている。ごんぼくを一生懸
 命育ててくれた父母に少して
 恩返ししたい。将来は、家族の
 ために家を建てたい。そのた
 りに勉強して大工になつてみ
 せる。

大工になりたい
 6年 佐々木 隼太

わたしは、しょう来のゆめは、びようしてす。理由は、テレビで、メイクやいろいろなかみかたで、おし、れをしてるうん、いきが好きだからです。わたしは、ときどき、妹のかみのちも、くく、て、練習しています。もしなれたら、みんなのかみのちをか、こよくしたり、かわいくしたりしたいです。

しょう来のゆめ
 4年 井上 綾華